



堀川同窓会
会長 門川大作

母校・堀川高校を愛され、同窓生の絆を大切に多彩な活動と堀川高校の更なる発展、生徒さんの支援へご尽力の皆様にご感謝しております。特に、同窓会の各役員、事務局の皆様、第一線の各リーダーの皆様らの使命感、ご献身に頭が下がります。また、同窓会会報の発信力にも驚きです。昨年の会報で門川の会長就任のインタビュー記事を掲載頂きました。小森マリ様の質問に答え、私の父母の金光教の教師としての生き方に子どもの頃から感銘！、いずれ私も！との

願いを持ち続け、市長退任後金光教本部（岡山県金光町）で修行に専心。今、金光教教師としての奉仕の日々に触れて頂きました。すると遠方の知人からお手紙、メール等を沢山頂きました。結婚や仕事等で京都を離れた人達の強い母校愛も実感し感激です。

さて、同窓会活動も創意工夫されて多彩に。長く、厳しかったコロナ禍を超えて活性化してますね。「感謝の反対語は何でしょう？」「当たり前！」。コロナ禍まで、友達と語り合いながら楽しく食事！。「当たり前！」と思ってました。でも、コロナ禍で「有り難い！」ことと、気付く機会を得ました。感謝しております。

さて、堀川同窓会ならではの「堀川婚活」や「グルメの会」に私も参加。それぞれ尊い活動ですが、私は社会貢献活動としての「堀川婚活」に感激してます。同窓会として「婚活」をする意義を深く議論されて始まった「堀川婚活」。私は2回参加させて頂き、明るく、和やかな雰囲気感銘。竹田賢司婚活担当部長の下に、役員の方々が創意工夫され、心を込めてご奉仕。笑顔が溢れてました。当初は堀川同窓会員の親族に限られた参加資格を今年から「堀川同窓生が責任を持って推薦出来る人！」と拡充。私も信頼出来る人にお勧めするとご参加。とても喜ばれました！。是非、堀川婚活で素敵なパートナーとのご縁を祈念。実は私は若い時から「超お節介」で、教育委員会や学校、市役所の職員さんのお見合いのお世話を懸命に。お一人お一人の幸せを祈って。表面的に「結婚する気は無い！」と言われていた方が、丁寧に話しかけて何組かご結婚。今、子育て最中の方も。そんな経験から「堀川婚活」に感銘です。是非、皆様ご関心を！。貴方のお近くに誘いをお待ちの方がきっとおられます。一人一人のお幸せのために。

30年前、京都市から始まった、保護者・地域・経済界等が「全ては子ども達のために」と学校運営に参画する学校運営協議会・コミュニティー・スクールの取組み。更に、26年前「全ては君の知りたい！から始まる」と、堀川高校から始まった「探究学習」。この二つの取組みが、今、全国の教職員、保護者、地域の方々、更に文部科学省等のご熱意で全国で展開され、確かな成果に。そんな時、堀川高校は船越康平校長先頭に「オール堀川」が一丸となり生徒を真ん中に、更なる前進へ！心強いです。深謝。合掌。



堀川高等学校
校長 船越康平

母校の教育活動に、日頃より深いご理解と温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。とりわけ、同窓会総会において、今年度も卒業生への奨学金をご支援いただきましたこと、厚く感謝申し上げます。皆さまのご厚意は、在校生の学びを力強く後押しし、未来への希望を育む大きな

支えとなっております。

令和7年4月に校長として着任し、皆さまの大切な母校をお預かりする重責を担うこととなりました。身の引き締まる思いとともに、武者震いするような気持ちで毎日を過ごしております。堀川高校には9年ぶりに戻ってまいりましたが、変わらぬ精神と伝統を受け継ぎつつ、変化するものとそうでないもの・移ろいゆくものとそうでないものを感じております。時代は大きく動き、予測困難な変化を続ける社会の中で、力強くタフに生き抜いていくことのできる生徒を育成したいと考えています。世のため人のためという発想を携え、生きることの究極の目的は何かという、本質に迫ることのできる卒業生を輩出することを使命と考えております。

着任直後の4月の入学式では、同窓会の門川大作会長にご臨席いただき、温かい激励のお言葉を頂戴しました。「堀川を第二ステージに！」「あいさつのできる学校にしてほしい」という言葉は、私の胸に深く刻まれています。全国の高校教育を牽引してきた堀川高校が、変化を恐れず次の段階を目指すこと。そして、人と人の直接的なコミュニケーションを大切に、その第一歩である「あいさつ」を学校文化として根づかせること。このメッセージを励みに、日々の校務に取り組んでおります。世界のどこに行っても通用する堀川同窓生を育てるために、挑戦を続けます。

末筆ながら、門川会長をはじめ同窓会の皆さまが、母校との絆をさらに深め、会がますます発展されることを心より願っております。皆さまのご健勝とご多幸を祈念し、今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

第117回

堀川同窓会

開催報告

「憩い」をテーマ軸に “青春時代を回顧する音楽祭”

2025年6月7日（土） ホテルグランヴィア京都にて第117回堀川同窓会を開催致しました。「憩い」をテーマにし144名の方々にご参加いただき旧交を温め、「憩い」のひと時を共有出来ました。

小川隆昭氏、TAP Dancer Shoe氏、堀川高校フォークソング同好会の3部構成にて、青春時代を懐かしみ、日常を離れてほっとする、そんな「癒しの音楽祭」で会場を大いに盛り上げていただきました。

当日は実行委員の他、多くの同級生が駆けつけて頂き、終始「憩い」の同窓会となりました。



同級生が多くお手伝い頂いた受付



緊張の中、素晴らしい司会者



門川会長の挨拶



テーブルでの記念撮影

今回、門川会長はご多忙の中、駆けつけて頂きました。ご挨拶のあとご退席でしたが、少しでも皆様と一緒にこのことで、各テーブルを回って頂き、記念撮影をして頂きました。



船越校長のご祝辞



石田相談役の乾杯



松川禮三様のご挨拶

堀川高等学校の船越校長先生よりご祝辞をいただきました。石田相談役の乾杯のご発生、横田めぐみさん等北朝鮮に拉致された被害者を救う会京都会長の松川様のご挨拶では、風化させてはならない事の再確認を致しました。



小川隆昭氏のピアノ演奏で始まりました



Tap Dancer Shoe氏とのコラボ

小川氏のピアノ演奏から始まり、Shoe氏のタップでは小川氏・フォークソング同好会とコラボで会場狭しと躍動感溢れるステージでした。フォークソング同好会では懐かしい音楽に多くの方が立ち上がり一緒に大合唱と会場は笑顔と歌声に包まれました。



山口名誉会長にご挨拶を続き、生徒歌をデジタルリマスターした2025年卒業の若いお二人も壇上にて、「緑なす森」を会場の皆さんと全員で大合唱、大いに盛り上がりました。

最後に中村副会長に会を締めて頂きました。



実行委員長の謝辞



118回実行委員長の挨拶



第117回同窓会は「憩い」をテーマに皆様と、笑顔溢れる会であり、35期生らしい同窓会だと思います。多くの皆様のご協力を賜り、無事に終わることが出来ました。感謝申し上げます。堀川同窓会の今後益々のご発展を祈念いたします。

117回実行委員長 今岡 勇次

H 社会で活躍する高35期生

1983年3月卒業生

堀川高校を卒業後、43年間、私たち高35期生は様々な経験を経て今日に至りました。それぞれの人生の数だけの紆余曲折を乗り越えて、自分達の人生を歩んできました。この紙面ではそれぞれの人生で、今も社会の最前線で頑張っている同窓生を紹介させていただきます。

青木 良浩 さん

米国カリフォルニア州ロサンゼルス在住
GOODFELLOWS USA INC 代表取締役

堀川高校卒業後、日本の大学受験に挑戦しましたが不合格。1984年に知人の勧めもあり渡米しました。英会話力ゼロからのスタートで苦労しましたが、何とかカリフォルニア州の大学を卒業。その後、日系商社の食品部で勤務し仕入先開拓のため各地を飛び回る日々を送りました。5年後に独立し、食品専門商社を設立。現在はチェリーやレタスなどの生鮮青果物、アーモンドやクルミなどのナッツ類を日本向けに輸出しています。

自分の扱った商品が日本のスーパーやレストランなどで販売されているのを見ると、今でも誇らしい気持ちになります。渡米して40年を超えましたが、日本へ帰国するたびにその良さを再発見し、引退後は日本で暮らしたいと思います。

[https:// www.gfusa.com](https://www.gfusa.com)



井上 達二 さん

京都市在住 / きてや四条大宮店経営



現在、堀川高校の最寄り駅・四条大宮で、焼き鳥居酒屋「きてや四条大宮店」を23年間営んでおります。在学中はバスケットボール部に所属し、厳しさの中にも楽しさがある充実した部活動の日々を過ごしました。自由な校風のおかげで高校生活はとても楽しく、勉強以外にも多くのことを学ばせていただいたと思います。卒業後は実家の書店を継ぎ、18年間務めました。

時代の流れで閉店となりましたが、書店業を通じて商売の楽しさや難しさを深く経験いたしました。

その後、地元で居酒屋を開業しましたが、同級生の皆さんをはじめ、多くの堀高出身の方々にご来店いただいております。

初めてお会いする方でも「堀川高校出身」というだけで自然と打ち解けられ、堀川高校卒業というありがたみを日々感じています。お客様との会話はどれも面白く刺激的で、おかげさまで楽しく働けています。

全国区となった現在の堀川高校と同一視して見られることも多く、少し恐縮しつつも誇らしい気持ちになります。



森 篤さん

京都市在住 / 知的障がい者入所施設リスクマネージャー



堀川高校を卒業し、大学では福祉について学び、学生時代のボランティアが縁となり現在の職場へと就職しました。

知的障がい者の支援が主な仕事ですが、入所施設とは利用者の生活の場であり365日をほとんどの方がそこで生活されています。そのため支援といっても生活に深く入り込むため今でも迷うことが多いです。利用者の起床から就寝までのそれぞれの利用者が必要とされる支援を行っています。また、そんな仕事で経験して得たスキルを若い職員に伝えていくのが今の課題と思い日々過ごしています。

休日は一人で過ごすことが多く趣味の路上観察が端を発して路傍のお地藏さん巡りをしております。

社会福祉法人 白川学園 <https://www.sgm42.or.jp/>

京都のお地藏さんmap ～西陣を中心に～

<https://www.google.com/maps/d/edit?mid=1maiCUPPgqhyNANKh-f7PBwhSNJ4&usp=sharing>



福島 (旧姓 酒井) 葉子さん

京都市在住 / 舞台ダンサー・ヨガインストラクター

『私の居場所』



卒業後、東京の劇団に入団、後に某女優さんに弟子入りしました。過酷な日々でしたが沢山の学びを得てTV、舞台に活動致しました。現在は高校から続けているダンスで舞台に立ち、ヨガのインストラクターもしております。

舞台のダンス仲間は年齢差も幅広く、若手について行くのは大変ですが、ベクトルを同方向にして、やり遂げたあとの達成感は大きく生きがいを感じております。ヨガは現状維持を少しでも長く、老化を少しでもゆっくりと、プラスマイナス0を目指して生徒さんと共に頑張っております。御所前のJEUGIAでもスクールをしていますので是非お気軽にご体験を！



野々村 (旧姓 藤田) 久美子さん

京都市在住 / ミュージックスクール「リトルコンチェルト」代表

『未来への希望』

堀川高校では吹奏楽部に所属し、部活動に明け暮れる日々を過ごしました。

みんなで心ひとつに音楽をつくる喜びを知りました。



大学は、京都教育大学教育学部音楽科に進み、今度はオペラという総合芸術に出会うことができました。その後、高校の非常勤講師を経て小学校教諭となりました。結婚し子宝にも恵まれました。でも子育ての支援は少なく、仕事と育児の両立は本当に大変でした。

やがて子どもは成長し、定年退職前の私に「夢は何？」と聞いてくれました。

今後は働く親も、その子どもも喜ぶ事業を考えたいです。

放課後の音楽室などで、ピアノや声楽などを学んだり、合唱や合奏を楽しんだりするコースを設け、気軽に音楽を親しむチャンスをつくり、未来につなげていきたいです。



吉岡登志夫 さん

大阪府高槻市在住 / 株式会社ミートモリタ屋

『高槻で頑張っています』

「ミートモリタ屋」は、京都の老家「モリタ屋」の暖簾分けで父が70年ほど前に高槻で開業しました。その後、店舗数を増やしながらスーパーマーケットや飲食店などを手掛けるようになりました。

私は令和元年より社長を任せ現在スーパー6店舗、飲食店2店舗、スイーツ店1店舗を経営しています。

豊かな食生活の提供で地域社会に貢献したいと「食」を通じて高槻市民に笑顔をお届けしています。価格や品揃えでは他のスーパーに負けるかもしれませんが、他にないもの・美味しいものをできるだけ手づくり（自社製造など）しております。（プライベートブランドなど多数）

お近くに来られたら、是非お寄りください。

<https://www.moritaya.com>



入江（旧姓 井上）貴美子 さん

亀岡市在住 / 京丹波町立竹野小学校 校長

『子ども時代の様々な体験が人生の基盤をつくる』



堀川高校卒業後、大学進学を経て、現在は京丹波町立竹野小学校に勤務しています。

本校は令和5年度に創立150周年を迎えた、地域のシンボルとも言える伝統ある学校です。児童数は約25名、自然豊かな環境で、異年齢の子どもたちが遊び回る姿は、日本の原風景を感じさせます。

教員として長い年月を歩む中では、子どもたちの笑顔に支えられ、教育の奥深さを実感しました。「一人一人の可能性を信じること」を大切に、子供たちが夢と希望をもち、サステナブルな社会の創り手として自律していけるよう教育活

動を進めています。

未来への願いは、子どもたちが自分の町を誇りに思い、世界へ羽ばたける力を身に付けること。そのために、保護者・地域と連携して地域参画型の学習や柔軟な思考を育てる取組にも力を入れています。

高校時代、自由な校風の中で自律的に学んだ経験が、今の学校づくりの基盤になっていると思います。

これからも子どもたちとともに学び続け、笑顔あふれる毎日大切にしながら、未来を生きる力を育てていきたいです。



高35期生は経済・教育・福祉・芸術や海外など様々な国・分野で活躍しています。自らの仕事に理念を持ち、仕事を通じて社会に還元する想いで、今も現役を続けております。その理念のもと、社会に多くの人々に笑顔を届けるべく頑張っております。

第118回 堀川同窓会

憩いと交流

祝舞ありダンスあり懐かしの音楽

祝舞

佐々木まなみ・百田あゆみ 姉妹
西川浩子

漢詩や和歌に節を付けて歌うのを「吟詠」それに合わせて刀や扇子を持って舞うものを「剣舞・詩舞」といいます。双子の姉妹で中学生の時から剣詩舞の稽古を始め45年になります。令和3年に全国剣詩舞コンクール決勝大会優勝。現在は主に指導にあたられています。(姉妹ともに普通科 昭和58年度卒業生)今回は西川浩子さん(普通科 昭和53年度卒業生)も共に舞って頂きます。

タップダンス

荒井修 Tap dancer shoe

18歳から東京でダンサーとしての活動を始め、米国にてバスターブラウン、ヘンリー等に師事。タップ、ジャズ、ヒップホップの振り付け、ミュージカル・TV出演等多方面で活躍するタップダンサー“Shoe”による華麗なタップダンス。在学中は陸上部、合唱部所属 (普通科 昭和58年度卒業生)

マンドリン&ギター

松葉井 昌代

お仕事の合間に音楽ボランティアであちこちの福祉施設で演奏されています。マンドリン、ギターの美しい生音を聴きながら、一緒に歌い楽しい時間を過ごしましょう。在学中はマンドリン部所属 (普通科 昭和50年度卒業生)

2026年 4月25日(土) 受付11時 開会12時

会場 ホテルグランヴィア京都 5階(古今の間)
JR 京都中央口(京都駅ビル内) TEL075-344-8888(代表)

会費 13,000円

申込締切日 2026年 3月31日(火)

参加費用振込締切日 2026年 4月13日(月)

申込み方法はFAX、ホームページ、電話の3種類。別紙チラシをご覧ください。

<https://horikawa-dosokai.com/>



入学式



探究DIVE



遠足



台湾模擬国連参加



台湾師範大学附属高級中学来校



球技大会

令和7年度 京都市立堀川高等学校 活動録 (令和7年4月～令和7年12月)



授業 (1年: 探究基礎)



探究道場
(中学生向け探究ワークショップ)



祇園祭ボランティア参加



7月学校説明会



日々の授業の様子
(1年生家庭科・空き家カードゲーム)



堀川高校コミュニティカレッジ
「山極壽一先生講演会」



探究道場連携校サミット



文化祭



文化祭
(3年生アトリウムパフォーマンス)



文化祭 (閉会式)



体育祭



探究基礎研究発表会



探究基礎研究発表会



避難訓練 (地震を想定)



京都探究ポスターセッション



台北国際青少年科学フォーラム
(TIYSF) 参加



11月学校説明会



11月学校説明会



第27回 教育研究大会



3年生を励ます会



宮城県仙台第三高校来校



「科学の甲子園」全国大会出場!

堀川奨学生からのメッセージ

1組 高木 速登 さん

堀川同窓会の皆様、この度は奨学金をご用意いただきありがとうございます。

私は宿泊研修、マレーシアコースの副コース長としてかけがえない経験を堀川高校で得ることが出来ました。私にとって初めての海外を共にした旅行会社や現地コーディネーターの方々、先生方、なによりコースとして80人を超える穂の25期生の仲間たち。夜の熱帯雨林クルーズから見た、銀河鉄道のように連なるスターリンク衛星。偶然に集まった仲間たちが一つになって夜空を指さす光景に、

私はこの瞬間を導いてくれたすべてに感謝を感じたのを覚えています。

そして私はこの経験が一つのきっかけとなって航海士という夢を抱きました。大海に生身で飛び出し、世界と日本を繋ぐ。日本の、世界の物流と暮らしを支える大きな船は決して一人の力では動かせません。私は宿泊研修とそこから連なる3年間で、偶然巡り合った人々が同じ方向を向くことが出来れば一人では見られない景色、感動を得られることを知りました。航海士は、偶然乗り合わせる乗組員たちが協力して動かす船の代表となる職業です。

航海士となった私がマレーシア沖を航行する度に堀川高校のことを思い出す。そんな未来に向かって努力します。

2組 金山 優 さん

堀川高校同窓会のみなさま、この度は奨学金を授与して下さり、ありがとうございます。私は、堀川高校で一緒に切磋琢磨できる仲間を得ました。特に三年生の文化祭でアトリウムパフォーマンスを行ったときに、仲間の大切さを感じました。私は、夏休み中、勉強と練習との両立が難しく、なかなか切り替えが上手にできませんでした。しかし、練習の前後に勉強していたり、練習にも勉強にもメリハリをつけて取り組んでいたりする仲間がいたおかげで、私もモチベーションを保ち、どちらも頑張ることができました。私は、将来、多くの仲間と共に高みを目指した経験を生かして、人に寄り添うことができる医療従事者になり

たいと考えています。そのために、奨学金を最大限に活用し、大学では、自分とは異なる視野や感覚を持つ患者さんがどのようにしたらより快適な日常生活を送ることが出来るかを一生懸命学びたいと思います。これからも堀川高校での活動を通して学んだ「ひとつになる 高みをめざす ひとりになる」を大切にしていきたいです。改めて、心より感謝いたします。



3組 出雲 愛 さん

堀川高校で過ごした3年間は私にとって学習面に限らず多方面で成長させてくれた、とても濃い時間でした。入学当初は授業についていくことさえ一苦労で、委員会や探究活動などに時間を取られる時期もありました。しかし、このような環境で必死に勉強したからこそ、授業で新たな知識を得たときの感動や物事の解像度が上がったときの高揚感は格別でした。さらに、共に高みを目指し、いつも刺激を与えてくれる仲間や支えてくださる先生方もいるこの環境が私に学ぶことの愉しさを気づかせてくれました。探究活動では、自分で設定した課題に向き合い、様々な立場の

方と議論した経験を経て、進学先で自律的に学び続けることに期待を抱くことができました。また、宿泊研修委員会でコース長を務めた経験からも多くの学びを得ました。人前に立つことも、組織を統括する役割も、ほとんど経験したことがなく、困難に直面することもありましたが、周囲の助けを借りながら私たち自身の手で宿泊研修を作り上げたことが今でも大きな自信になっています。将来の具体的な展望はまだ定まっていませんが、進学先で大好きな歴史学に熱中できることを今はただ純粋に楽しみにしています。

毎年、堀川同窓会では、堀川高校応援活動の一つとして、学校生活や探究活動に役立てていただければと、現役3年生に奨学金を進呈しています。高等学校の3年間、自分自身の進路実現に向けて果敢に挑戦した、そんな78回卒業の奨学生の皆さんからのメッセージを紹介いたします。

4組 阿諏訪元之介 さん

私は堀川高校での三年間を通じて、今まで触れてこなかった物事に積極的に関わってみることで自分の視野を広げ、これからの人生の大きな基礎を築くことができました。例えば学校説明会に参加し、自分の殻を破って成長できる機会を頂きました。そこで得た計画性や誰かと協力して何かをやり遂げる力は、今後も生き続けると思います。また部活動は軽音楽部に入ってこれまであまり触れてこなかった分野の音楽も聞くようになり、今は音楽を聞いたり演奏したりすることが自分の最も大きな趣味の一つになりました。他にも文化祭などの行事では仲間と協力して創造

的なものを作り上げることの楽しさが分かり、特に三年生でのアトリウムパフォーマンスが成功した時には深く「この高校に来て良かった」と思えました。最後に堀川同窓会の方々、奨学金をくださりありがとうございます。これから堀川で学んだことを糧に社会で活躍していきたいです。



5組 山田おれんじ さん

私が、堀川高校に入学して最も良かったと思ったことは、探究というものに出会い、親しむことができたことです。

中学生までの私は、探究といったものにあまり触れてこず、むしろ自由研究などにも消極的な方でした。そのため、堀川高校では探究活動が盛んに行われていると知った時もそれほど興味を引かれてはいませんでした。しかし、入学してから、探究の方法やルールを学び、実際に取り組んでからは、身の回りの小さな不思議や疑問に興味を持つようになり、これらを探し、考え、調べることが毎日の中での一つの楽しみになりました。そして、1年生の後期になり、元々好きだった数学を探究するために数学ゼミを選んで

からはより探究にのめり込んでいくようになりました。それからは常に頭の片隅に自分が選んだ探究のテーマを置いておき、日常のふとしたタイミングで考えるようになりました。そして、いくつかの面白い結果を得ることができ、JSEC（高校生・高専生科学技術チャレンジ）や坊ちゃん科学賞で賞をいただくことができました。また、この活動を通して、大学での研究や職業としての研究者にも興味を持つようになり、自分の将来を見通す良いきっかけにもなりました。

これらのような経験ができる堀川高校で学ぶことができたことを本当に良かったと思っています。

6組 若林 伊織 さん

堀川同窓会の皆さま、この度は奨学金をご支給くださり、誠にありがとうございます。私がこの堀川高校での3年間で特に学び、得たことは、仲間とともに考え、高め合い、創り上げることの楽しさと難しさ、そしてその効果です。勉強や部活動では、初めは何もできませんでしたが、堀川高校には仲間と触発されたり、教えてもらったりすることで互いに切磋琢磨できる環境がありました。その中で衝突や葛藤などが何度もありましたが、それらを乗り越えることは非常に困難でした。ですがそのような困難を乗り越え

ることも、自分を成長させるために必要な経験でした。特に文化祭のアトリウムパフォーマンスにおいて、仲間たちとともに一つの作品を創り上げる過程には多くの葛藤が伴いました。互いに励まし合ったり、一緒に考え合ったりしました。もちろん大変でした。逃げ出したくなりました。しかしそこで全力を尽くせたことで、最高の思い出を作り上げることができました。結果は伴わず悔しい思いもしましたが、成長の過程として良い経験ができたと思っています。大学進学後も、周りと共に活動する姿勢を忘れずにいたい。改めましてこの度は本当にありがとうございます。

歌手 加藤登紀子さん母を語る

加藤登紀子さんの母上加藤淑子さんは堀川同窓会会員（堀川高等女学校本校11期）です。加藤さんに母上の思い出を語っていただきました。

加藤登紀子（プロフィール）

1943年ハルビン生まれ。

1965年東京大学在学中第2回日本アマチュアシャンソンコンクールに優勝し歌手デビュー。1966年「赤い風船」でレコード大賞新人賞、1969年「ひとり寝の子守唄」、1971年「知床旅情」でレコード大賞歌唱賞を受賞。以後、80枚以上のアルバムと多くのヒット曲を世に送り出してきた。



【モダンガールだった母】

母は大正4年、呉服屋の長女として生まれました。純然たる京女です。でも大正という時代は、日本に大正ロマンチズムの風が吹いた新しい時代だった、ということをも母の人生からずっと感じてきました。

大正4年は西暦で言うと1915年。

ヨーロッパでは第一次世界大戦の最中。なんとエディット・ピアフがこの年にパリで生まれています。私はこの偶然の一致を知ってから、母の中にピアフを感じてきました。

父の口癖だったのは、「京都の女は強うてかなわんわ」という言葉。確かに何だかわからない、いつも何かに挑戦しているような芯の強さが、二人に共通しているような気がします。



母と私

【母は思い出を語るのが好きでした】

堀川女学校時代のことも、たくさん話してくれました。バレーボール部の選手だったことが、彼女の一番の自慢でした。

当時堀川女学校にはオリンピックの日本人女子の初メダリスト、人見絹枝さんが体操の先生だったこともある、と嬉しそうに言っていました。

「颯爽としてはって、ものすごく素敵な先生やった。」と。

この日本から世界に出て行った女子がメダルをとった、ということは凄いことだったでしょう。「女の子だから、おとなしくしてなさい」と言われるのではなく、「これからは、女だって、どんどん世界に出ていく時代」

そういうメッセージをまっすぐ受け取って女学校時代を

過ごしていたことがバンバン伝わってきます。でも家に帰ると、お父さんからは、「女の子は勉強なんかせんでええ。家の手伝いをせなあかん」と言われて、なかなか勉強させてもらえなかった、とぼやいてました。

そんな親の考えの中、母が女学校を卒業して大阪の堂島にあったドレスメイキングの洋裁学校に入った経緯は、なんだったのでしょうか。

女性が職業に就くことを嫌った時代に、ある意味で職業を目指す学校だったわけですから。

でもこの洋裁学校の勉強が母の人生に大きく役立つことになりました。

【母の結婚】



20歳の母



母の結婚式

母は昭和10年10月10日、1935年20歳で結婚します。

その頃京都の写真館で撮影した写真がここにあります。着ている洋服は全部母自身の手作りです。

その頃、洋服を仕立てるのは大金持ちにしか出来ないことだったから、普通の人が洋服を着るためには、自分で作るしかなかった、と言っていました。洋裁学校に2年間通ったくらいで、そんなことができるのかしら、と不思議な気がします。都ホテルでの結婚式の写真も、素敵なウェディングドレスです。

みんなで大事にしていたこの写真、子供の頃私もうっとりしながら見ていました。

母は、呉服屋の娘なのに、ウェディングドレスで式を挙げた!!それが衝撃でした。

でもずっと後になって母があっさりと言ったんです。「私が自分で作ったドレスで式を挙げる」と言ったら、お父さんは大喜び。

「そら安うてええわ」と言うたんよ。呉服屋が娘に晴れ着を着せたら、「ええ加減なことではへん、高うつくからなあ」って。

母が結婚した相手は、満鉄の社員。その加藤幸四郎も京都の呉服屋の4男でした。19歳でハルビン学院に入学。当時ハルビン学院は日本から各県に一人ずつ入学できたそうで、父は京都からのひとりとして入学したわけです。

でも卒業の前年に満州事変が始まり、日本の企業もいっぺんにハルビンから撤退してしまい、父は就職ができなかったそうです。そのまま帰国して、しばらくは歌手を目指して東京でウロウロしていたようですが、そんな時、ある夏の海岸で母と出会い、すっかり恋に落ち、ラブレターを書きつづけたのでした。でも無職の風来坊ではダメ、ということで母の手にも渡らず、親に捨てられていたことがわかり、父は歌手になる道を諦め、再び満州での就職活動に励み、南満州鉄道の社員になり、改めて母に求婚。母は満州に渡るということで随分反対されたようですが、父との結婚を決断した、というわけです。

【ハルビンの大地で】

初めて日本を出て、異郷の地で暮らしたときめきを母は自著の「ハルビンの詩がきこえる」の中に書いています。

ハルビンに着いてロシア人の家での下宿生活が父と母の新婚生活でした。

この日から始まったハルビンでの暮らしは、ハルビンに暮らすたくさんの亡命ロシア人との出会い、1938年の兄の誕生、1940年に京都への里帰りで姉の誕生、1943年再びハルビンに帰って私の誕生、幸せな喜びに包まれた日々です。でもその後が続いたのは1945年6月の父の出征、8月9日のソ連の参戦、8月15日の敗戦、さらに1年間の収容所生活、そして1946年の9月ハルビン駅から無蓋貨物列車に乗り、引き揚げの旅に出た日のことまで、母はこの本の中に書いています。



ハルビンの詩がきこえる

【ハルビン・コンサート】

2025年8月、私はハルビン交響楽団との共演でハルビン・コンサートを開催することができました。そして兄、姉と3人初めて揃ってハルビンを訪ねたのです。父と母が新婚生活を送ったマリア・ニコラエブナの家は、重要文化財になっていて、今もそのまま残っており改築中でした。いくつもの思い出の場所を訪ね、この80年で1,000万人都市にまで発展しそうなハルビン、でも昔の街の風景は大切に守られていて、思い出を辿ることができたことを嬉しく思いました。



マリア・ニコラエブナの家



ハルビン・コンサート 兄妹3人

【私の著書「トコちゃん物語」】

母の人生の全てをここに書くことはできませんが、私が生まれた日から日本に引き揚げ後の5歳から12歳までを京都の上賀茂で暮らした、その夢のような日々のごとも私の著書「トコちゃん物語」(合同出版)に書いていますので、ぜひ読んでください。

どんな時も前向きで楽しそうでどんなことにも毅然と行動した母。

おしゃれで新しかったモダンガールの母。

その母の心を育んだ京都の青春に心から感謝したいと思います。

加藤登紀子 記



上賀茂神社式年遷宮

堀川同窓会有志では母上が堀川同窓会会員であったご縁から加藤登紀子さんを応援しています。

賀茂別雷神社（上賀茂神社）は高承の通り山城国一之宮・平安京の守り神として平安時代以前より京都・洛北に鎮まります我が国最古の神社の一つであります。

天武天皇7年（678年）創建とされる上賀茂神社が10年後の2036年、式年遷宮を迎えます。京都最古の神社の式年遷宮とあって、国内外から大きな注目を集めています。

堀川同窓会有志では加藤さんとともに式年遷宮を応援しております。



式年遷宮を盛り上げるイベントとして、加藤さんは、笑福亭鶴瓶さんと一緒に「結び〜繋ぐ」をテーマにトークショーを開催されます。

ご興味のある方は、是非、ご参加してみてください。

賀茂別雷神社・上賀茂の地に捧ぐ

加藤登紀子「縁結び」トークライブ

ゲスト 笑福亭鶴瓶

— 賀茂別雷神社2036年遷宮成功祈願 —

主催：賀茂別雷神社遷宮を応援する会
後援：賀茂別雷神社

出演者：加藤登紀子、笑福亭鶴瓶

コンサート日時：2026年9月12日（土） 16時開演
コンサート会場：上賀茂神社 庁屋

観客席数：500名（長屋内200名・野外椅子席200名・立ち見席100名）

チケット金額：¥5,000（長屋内・野外椅子席）
¥3,000（立ち見席）

チケット販売：賀茂別雷神社遷宮を応援する実行委員会
お問い合わせ：同窓会事務局（090-3618-9118）

賀茂別雷神社の遷宮をご紹介します。

遷宮というと「伊勢神宮」が浮かびますが、賀茂別雷神社も平安時代より1000年以上肅々と執り行われてきました。10年後に迎える遷宮に想いを馳せ、神代の時代からこの京都の地を守ってこられた賀茂別雷神社の遷宮を応援したいと思います。



山城国一之宮 世界文化遺産

加茂別雷神社（上賀茂神社）



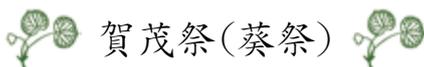
楼門



由緒

遙か神代の昔、賀茂別雷大神（かもわけ いかづちのおおかみ）が、上賀茂の秀峰・神山にご降臨になられた事が当神社の起源であり、京都最古の神社のひとつとされています。

第40代天武天皇6年（677）に現在まで殆ど変容することのない社殿群の礎が築かれました。



賀茂祭(葵祭)

当神社の例祭は毎年5月15日に斎行される賀茂祭（通称 葵祭）で、京都三大祭のひとつです。

その起源は1400年以上前に遡ります。

天皇陛下の御使いである勅使をお迎えし、国家安泰と国民の安寧を祈る神事です。

京都御所を出発して神社に向かう平安装束を身に纏った行列が優雅な祭として知られています。



式年遷宮

当神社は国宝2棟、国指定重要文化財41棟を有し、約23万坪の境内全域が世界文化遺産に登録されています。

これら境内の社殿群は、平安時代に制定された21年毎の式年遷宮によって造替・修復を繰り返すことで、その佇まいを1000年以上変わらず守ってきました。

遷宮はご祭神のご神威の発揚はもとより、社殿の建築技術やご神宝奉製の為の伝統技法を継承する為には欠かせない一大事業であり、令和18年に第43回式年遷宮を迎えます。



神馬「神山号」



細殿・立砂

賀茂別雷神社（上賀茂神社）

〒603-8047 京都市北区上賀茂本山339
TEL 075-781-0011

堀川同窓会ゴルフ倶楽部



堀川同窓会ゴルフ倶楽部（HGC）は会員の皆様と親睦を深め、堀川同窓会の発展を図る目的で設立し本年第7回大会を迎えます。

令和元年に発足以来、これまで6回（練習会を含めると10回）開催してまいりました。昨年時点で会員数も63名まで成長いたしました。

本年も練習会と、第7回HGC大会を企画いたしますので、是非、ご参加ください。
初心者、初級者大歓迎です。

HGC部長 中村一郎



【第6回HGC大会】

日時：令和7年10月11日（土）
会場：大津カントリー西コース

参加者は8組（32名）で大いに楽しみました。

また、プレー後のHGC名物表彰式・懇親パーティーも盛大に行い、参加者全員各種賞品をお持ち帰り戴きました。

堀川同窓会山口富藏名誉会長（京菓子司 末富会長）、平井義久同相談役（京つけもの西利会長）からも豪華な賞品をご提供戴いております。

本年度の開催予定

練習会2026

日時：令和8年5月30日（土）
会場：京都大原パブリックコース
定員：5組（20名）予定



第7回HGC大会

日時：令和8年10月17日（土）
会場：大津カントリー西コース
定員：10組（40名）予定



スタート時間等、詳細は後日決定次第お知らせします。
参加資格：堀川同窓会会員、及びその親族等
表彰式：別途表彰式会場にて。豪華賞品多数あり！
申込み：別紙申込書にて又は、右記QR（堀川同窓会HP）
又は、同窓会事務局（090-3618-9118）まで



堀川同窓会グルメ倶楽部



令和2年、堀川同窓会を発展させるサテライト組織として、堀川グルメ倶楽部を発足させました。第1回(老舗料亭柊屋)に始まり、これまで5回開催し、登録会員数も112名まで成長いたしました。本年も、2回の開催を予定しておりますので、多数のご参加をお待ちしています。

京都の有名店、星付とか名前はよく知っているし京都人なら一度は行ってみたいけれど、高そうだし、行くチャンスもなく、これからも行けそうにないお店、また、トレンドのお店、とてもリーズナブルでお得感満載のお店。

このようなお店で、同窓会会員と食事し親睦の輪を広げることによって、堀川同窓会の発展に繋がりたいと考えています。

堀川同窓会グルメ倶楽部 部長 大八木一壽



【第4回堀川グルメ会】
京都のフレンチの老舗 フランス料理ボルドー…
日時：令和7年5月24日（土）

洛北の京、閑静な趣のある玄塚の地都心の喧噪から隔たったところに、ひっそりとたたずんでいます。その外観の醸し出すムードは、まるでフランス郊外の、高級レストラン。

オーナーシェフ大溝隆夫氏の料理解説に始まり、ヴァイオリン演奏やマジックショー等、34名のご参加で盛大に楽しくすごしました。

【第5回堀川グルメ会】
老舗料理旅館「柊家」「柊家」の感動をもう一度企画
日時：令和7年9月16日（火）

一般からの予約は難しい京都の老舗料理旅館「柊家」にて開催致しました。柊家は木造数寄屋造り、国登録有形文化財であり文豪川端康成縁の料理旅館です。

お茶席、女将の柊家の歴史解説に始まり、館内見学や、芸舞妓による祝踊や、なかなか体験できないお座敷あそびで盛り上がりました。(参加者32名)

本年度の開催予定

第6回堀川グルメ

日時：令和8年5月23日（土）昼
会場：京都 東山の老舗料亭「菊乃井 本店」
会費：25,000円（予定）
定員：30名



ご存じの通りミシュランガイド3星の老舗料亭
一八坂神社近く高台寺の緑に包まれた清閑な地に菊乃井本店はございます。先祖は、代々、豊臣秀吉の妻・北政所が茶の湯に使った、菊水の井を守ってきた茶坊主で、大正元年、料理屋として創業致しました。－

イベントとして、先斗町の芸舞妓による「一調一管」を予定しています。「一調一管」とは、能楽の演奏形式の一つで、笛（一管）と打楽器（一調）が1人ずつで構成される、特殊で高度な合奏形式です。京都花街でも披露されるのはしごく稀です。

また、祝舞やお座敷あそびもお楽しみください。

第7回堀川グルメ

日時：令和8年10月3日（土）昼
会場：会員制倶楽部秋津洲（あきつしま）
会費：25,000円（予定）
定員：30名



旧華族の館を彷彿させる会員制倶楽部です。
本来この施設は会員以外のご利用はできませんが、今般、堀川グルメ会で特別に利用させて頂き戴きます。

上賀茂に位置し、清流の落水が響く庭園と、その水の音と四季折々の景色を楽しむために設計された多様なデザインが見物です。オーナー自ら世界各国から集めた調度品が彩る各部屋からは、四季の様々な表情を堪能できます。

また、日本最高峰のシェフが織り成す四季折々の旬を味わう極上の空間「最高のフレンチを食す」

イベントとしてはヴァイオリン演奏やマジックショーを予定しています。(イベントは変更される場合があります)

参加資格：堀川同窓会会員、及びその親族等
申込み：別紙申込書にて又は、右記QR（堀川同窓会HP）
又は、同窓会事務局（090-3618-9118）まで



東京支部 活動報告

発足以来3年目を迎えた2025年度は、活動の輪を少しずつ広げています。

毎年開催している交流パーティー（7月26日）に加え、ゴルフコンペ（9月29日）やグルメ会（11月14日）も行って参りました。

来年度以降も様々な活動を行って参りますので、東京近郊にお住まいの同窓生の方々のご参加をお待ちしております。来年度の活動内容などは、内容が決まり次第ホームページに掲載して参りますので、下記サイトをご覧ください。

堀川高校同窓会東京支部ホームページ <https://horikawa.acooper.jp/>



交流会の全体写真（左）と
ボサノヴァシンガーカレンさん（下）



東京神楽坂
ルグドゥノムブションリヨネでの
グルメ会の様子（左）

千葉県君津市
ジャパンPGAゴルフクラブでの
ゴルフコンペ（下）



連絡先 東京支部長 伊藤文彰

E-mail : fumiaki@madoi-co.com

TEL : 090-4492-1430

堀川婚活会

マッチングサロン

素敵な出会いは
ここから!!



堀川婚活会はマッチングサロンを開始します
素敵な出会いをお手伝い
その出会いを支えるのは堀川同窓会
まずはメールで入会のお申込みを!!

マッチングサロンでは

入会された方には、登録会員の中からご希望される方との出会いの場をご用意いたします
また、お世話係から、あなたと相性が合いそうな方をご紹介いたします
マッチングサロンが縁結びのお手伝いをいたします

入会について

1. 入会可能対象者

- ・堀川同窓会会員及びご家族ご親族
- ・同窓会会員が自信を持って推薦出来る方
(堀川関係者ではない方も可能です)

2. 費用について

- ・入会金や会費は無料です
- ・マッチングサロン当日の飲食代などは実費でいただきます

3. 申込みについて

- ・右のQRコードから、堀川婚活会へメールを送れます
(konkatsu@horikawa-dosokai.com)
後日、堀川婚活会から、詳しいお申込方法をメールでご案内します
申込は本人、紹介者どちらでもOKです
ご不明な事がございましたら、堀川婚活会、竹田090-7879-6551まで
お問合せください
ご入会をお待ちいたしております



当会の出会で結婚が決まれば
母校で前撮りもできます



年会費納付状況

同窓会では同窓会報の発行をはじめとして、会員の皆様と親睦を図るために同窓会開催など様々な活動を行っております。

運営委員は全て無償のボランティア活動で行っておりますが、運営経費は会員の皆様からの同窓会年会費及びご有志の皆様からの寄付金を原資に活動しております。

引き続き、堀川同窓会の発展にご理解とご支援をお願いいたします。

また、本来、同窓会開催は毎年4月に開催しておりましたが、過年のコロナ禍の影響により開催時期が秋頃にずれておりました。同窓会では開催時期を本来の4月に戻すべく、ここ数年の開催時期を少しずつ早めており、今般、漸く、本来の4月開催に戻すことが出来ました。(今後、同窓会は4月に開催いたします)

よって、今後の年会費納付案内（同窓会案内）は毎年3月に発行とさせていただきます。

ご理解とご協力お願い申し上げます。

堀川同窓会会長 門川大作

年会費・寄付金連立制

【年会費】

年会費 2,000円/年

ご事情がございません限り、全会員様、年会費を納めていただけますようお願いいたします。

同封の年会費納付票にて、郵便局・コンビニ・スマホ決済のいずれかで納められます。

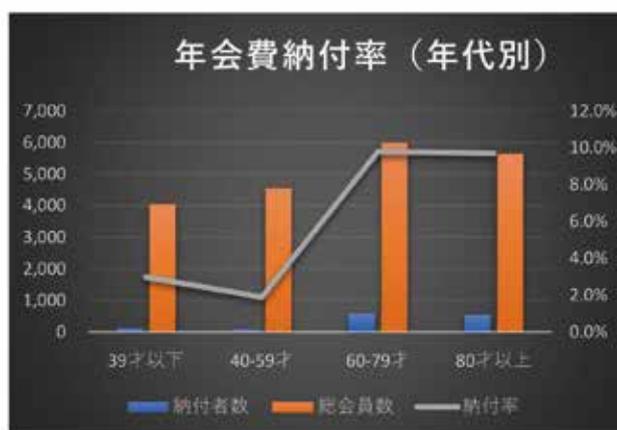
【寄付金】

同窓会の継続と発展のためのご有志による寄付金です。(年会費と併せてご協力お願いします)

金額欄は白紙です。少額からでもご賛同いただける任意の金額をお願いいたします。

ご賛同者様は会報誌に御芳名を掲載し感謝の意とさせていただきます。

令和7年（117回）の年会費納付結果



- ◆ 令和7年度の年会費納付率は6.7%でした。(住所不明や発送停止希望者を除く有効会員数)
- ◆ 会報誌発送(年会費納付)時期が早まった影響もあり、昨年度(年会費移行初年)より納付率が下がりましたが、納付率20%を目標とし安定した同窓会運営を目指しますので宜しくお願い致します。
- ◆ 高齢者層に比べ、若年者層の納付率が低い状況です。(60歳以上で84.6%の納付状況です)

堀川同窓会「会員」についてご説明致します

1. 卒業と同時に、全員、堀川同窓会会員となります。(卒業時に同窓会入会金を納めています)
2. 「退会」という概念はございません。
3. 但し、希望すれば、同窓会名簿から削除や、会報誌等の郵送を停止することは可能です。
(HPから依頼、又は、事務局へ連絡してください)

令和6年度堀川同窓会決算書（一般会計）

（令和6年6月1日から令和7年5月31日）

（単位：円）

収 入	
費 目	金 額
※ 前年度繰越金 ※	3,600,351
前年度事業準備会計への振替予定金	1,500,000
年会費	5,266,000
入会金	1,086,000
業務委託収益金	0
寄付金	3,079,900
受取利息・他	1,296
雑収入	2,500
令和7年度同窓会会費前受金	1,428,000
令和7年度同窓会未払金	1,000
合 計	15,965,047

支 出	
費 目	金 額
堀川奨励金費	300,000
学校活動費	100,000
ホームページ維持管理費	107,800
通信費	6,810
事務費	242,083
会報制作事務委託費	6,157,829
会議費	770
会報制作委員会費	100,000
同窓会実行委員会費	100,000
支払手数料・他	632,939
令和6年度事業準備会計への振替	1,500,000
1.令和7年度事業準備会計への振替予定金	2,000,000
2.堀川同窓会会計（第116回）への振替	380,262
3.各種事業会計への振替	【48,823】
①堀川同窓会ゴルフ倶楽部コンペ会計(第5回)	21,028
③堀川同窓会婚活倶楽部会計(第3回・第4回)	27,795
※ 次年度繰越金 ※	☞ 4,287,731
合 計	15,965,047

令和6年度事業準備会計決算書（特別会計）

（令和6年6月1日から令和7年5月31日）

（単位：円）

収 入	
費 目	金 額
※ 前年度繰越金 ※	13,026,293
定期預金収益	3,415
一般会計より振替	1,500,000
合 計	14,529,708

支 出	
費 目	金 額
解約払い出し	0
※ 次年度繰越金 ※	☞ 14,529,708
合 計	14,529,708

令和7年5月31日 会計 上田 孝

現預金明細

（令和7年5月31日現在）

（単位：円）

項 目	金 額
Ⅰ資産の部	20,886,790
1.一般会計	6,357,082
現金預金（注1）	6,357,082
2.特別会計	14,529,708
事業準備会計預金（注2）	14,529,708
正味財産	20,886,790
(注1)	
京都銀行	3,605,208
京都信用金庫	223,506
郵便貯金	2,244,368
サト預かり金	284,000
合 計	6,357,082
(注2)	
京都信用金庫	14,529,708

【令和6年度会計決算における補足説明】

- 会計決算日は、5月31日ですが、当年度は、6月8日に同窓会を開催した関係で、例年決算と異なる点について、下記に説明致します。
 - ①年会費中、1,320,000円は、令和7年度6月の同窓会案内会報による入金分であります。
 - ②寄付金中、1,361,500円は、令和7年度6月の同窓会案内会報による入金分であります。
 - ③令和7年度同窓会会費前受金は、令和7年度6月の同窓会会費の入金分であります。
 - ④令和7年度同窓会未払金は、前受金中、会費を過払いされた分を計上しました。
 - ⑤当年度中、会報が2度発行されたため、会報制作事務委託費が2回分となった。
- 財産目録現預金残高（6,357,082円）と一般会計次年度繰越金（4,287,731円）との差額2,069,351円は、令和7年度事業準備会計への振替予定金2,000,000円と堀川同窓会グルメ倶楽部の次年度繰越金69,351円となります。

監査報告書要約版

令和7年10月10日

堀川同窓会
会長 門川 大作 殿

堀川同窓会 監事 佐々木 健次

私監事は、堀川同窓会の令和6年6月1日から令和7年5月31日までの令和6年度における業務及び会計の監査を行いました。その方法及び結果につき以下の通り報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容
 - (1) 業務監査については、その職務の執行状況について報告を受け、業務執行の妥当性を検討しました。
 - (2) 会計監査については、令和6年度計算書類（一般会計、特別会計等）に関し、必要と思われる監査手続を行い、当該年度に係る計算書類についての正確性を検討しました。
2. 監査の結果
 - (1) 業務監査については、その職務の執行に関して堀川同窓会会則に違反する重大な事実は認められません。
 - (2) 会計監査については、令和6年度計算書類（一般会計、特別会計等）は、堀川同窓会の財産及び損益の状況を重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

令和7年度寄付金ご芳名録

敬称略、()内は旧姓

(令和7年4月1日～7年12月31日までのご納付)

同窓会は皆様方の年会費と寄付金で運営されております！

拝啓 同窓会会員の皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

同窓会では同窓会報の発行をはじめとして、皆様方の親睦を図るために様々な活動を行っておりますが、その運営は年会費と有志の皆様からの寄付金にて賄われております。これからの同窓会事業の発展のためには、皆様方の温かいご支援が不可欠であり、ご厚意を賜りたくお願いする次第でございます。

昨年度、寄付金にご賛同頂きました皆様に厚く感謝申し上げますとともに、ご芳名を掲載させていただきます。今後とも、寄付金にご賛同賜りますようお願い申し上げます。

敬具

堀川同窓会会長 門川大作

100,000円	高2	浅原順次(江島)							
30,000円	高15	園壽一							
20,000円	本校32	林道子(木村)	高5	辻倉幸三	高5	岡本健	高7	山口富藏	
	高10	平井義久	高13	萩原由美子(沼田)	高21	門川大作			
15,000円	高13	山下晃司							
12,000円	高5	木村邦太郎							
10,000円	旧教職員	鈴木雅博	本校33	外村方子(織田)	本校34	福島美智子	本校38	米田享(松井)	
	高2	神谷治	高2	藤井英子(光村)	高3	幡谷文子(国井)	高5	高畠正子(鈴木)	
	高7	Johnsen照枝(小松)	高8	島田昌彦	高9	伊勢戸敏信	高10	逸見和子(宮川)	
	高10	岡本喜久穂	高10	吉岡睦高	高12	津田尚久	高13	山田房子(米井)	
	高14	川勝康行	高15	中山敬三	高16	森岡順子(長東)	高18	門阪庄三	
	高19	太田健一	高20	松本美樹	高20	北原茂樹	高20	木村信一	
	高20	野坂傑	高20	高本明美(佐竹)	高21	長谷川豊	高21	二宮秀子(四十物)	
	高24	滝下信夫	高25	佐野博之	高25	中村一郎	高26	粟津啓介	
	高26	肝付容子(服部)	高26	佐々木健次	高26	大八木一壽	高26	北村一二	
	高27	高橋祥二郎	高27	中川祐子(小石)	高27	尾池均	高28	荒木泰博	
	高28	石塚幸子	高30	伊藤文彰	高30	岸田蘭子(三好)	高30	新実彰男	
	高30	神元靖司	高32	石田慶樹	高64	熊谷憲八	高70	末岡玉恵	
	音楽科19	高山素子(栗田)							
9,000円	高7	采野昌弘	高25	竹田賢司					
8,000円	高3	永井和子(小橋)	高4	森田昂	高6	伊藤伊三	高10	中村五三郎(糸井)	
	高12	山下麗雄	高17	家久和也	高18	大谷博己	高20	沢正治郎	
	高24	小堂学	高26	西村芳人(宇都宮)					
7,000円	高25	森本匡昭							
6,000円	高19	林隆志	高24	加藤幸弘	高37	太田垣匡宏			
5,500円	高45	松井美和(沈)							
5,000円	高3	貴多妙子(松居)	高3	日置忠博	高4	伊崎宏子(永井)	高4	高井榮子(田中)	
	高4	大貫敏子(林)	高5	近田正明	高6	松川禮三	高7	永野忠士	
	高7	寺田富江	高7	西野良子(細川)	高7	青木義治	高7	田中正雄	
	高8	安田行雄	高8	吉里年和	高8	杉本清子	高8	林寅雄	
	高9	山本弥太郎	高10	長谷川光司	高10	南勝介	高11	玉木邦夫	
	高11	田中百江(井口)	高12	沖島純子(阿部)	高12	人見正勝	高12	田村昭治	
	高13	河嶋喜矩子(森)	高13	荒木珠子(中村)	高13	前田恒子(福本)	高13	鳥飼逸子(森田)	
	高14	小谷武一郎	高14	松尾由喜(岡本)	高14	石垣雅晴	高15	高橋良一	
	高15	山本祥古(村瀬)	高15	大塚美江	高16	若松佑子	高17	江村常夫	

令和7年度寄付金ご芳名録

敬称略、()内は旧姓

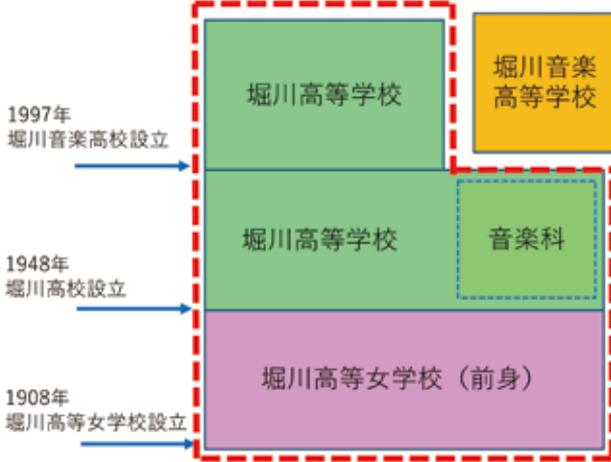
(令和7年4月1日～7年12月31日までのご納付)

5,000円	高17	池垣定憲	高18	久保田正夫	高20	大八木雅夫	高20	湯川廣(山本)
	高24	大藤政治(尾崎)	高27	清原由美子(堀家)	高27	能勢希久子(直井)	高31	山本正典
	高31	中井いづみ(中川)	高31	平松信昭	高32	森久蔵	高32	川瀬浩史
	高34	西田貴要子(巴山)	高35	岡田典明	高35	村田幹雄	音楽科6	アルベサル和子(松村)
	音楽科25	宗吉敬子(本間)	音楽科27	大垣英美(岡田)				
4,000円	高10	渡邊健吾	高46	山口貴史				
3,100円	高22	八木完二						
3,000円	高2	鈴木安子(小森)	高3	芝本孝子(吉治)	高3	小泉実	高3	青木高子
	高4	中谷弘	高5	寺本明子(長谷川)	高5	川崎和男	高5	中田富代(小野)
	高6	山本彬等	高6	神田滋	高6	田中良典	高7	三井祥功
	高7	小西慶典	高7	森川浩治	高7	太田佐知子(新井)	高8	奥山良昭
	高8	鍵谷恭三	高8	檜垣要	高9	岡尾恵市(伊吹)	高9	加藤啓子(山中)
	高9	小松勝子(出途)	高9	松本郁子(竹内)	高9	森川芳暉子(西村)	高10	菊地昭雄
	高10	吉田昌史	高10	吉田敏子(岸田)	高10	松本康子(矢追)	高10	中川昌夫
	高10	林文子(山脇)	高11	政木美子(後田)	高11	土井尚子(青木)	高12	飯田薫
	高12	福嶋正子(小西)	高12	平野雅左夫	高13	橋本和子(西岡)	高13	杉浦康弘
	高13	藤井尊子(松村)	高14	伊藤稔	高14	吉田進	高14	山本亨
	高14	森邦彦	高14	杉浦弘子(中島)	高14	西村禎祐	高14	西田重昭
	高14	田中泰弘	高15	吉野彌榮子(奥村)	高15	小杉ミヨ(森川)	高15	松下隆夫
	高15	池田功二	高15	高橋美知子(山脇)	高16	石原加代子(岸本)	高17	居関京子
	高17	高田悦子(加藤)	高17	根本夫美子(福田)	高17	大野延雄(安達)	高17	長谷川滋
	高17	矢追三郎	高18	江田文子	高18	集治俊信	高18	松山俊弘
	高18	中西正三	高18	畑登代子	高18	北村良徳	高19	山中敏嗣
	高19	青木喜延	高19	曾野康男	高19	堀江孝	高20	森住文博
	高20	川端美恵子(杉本)	高21	小竹由依子(一新)	高21	浜崎葉子(段々)	高22	辻本雄二(柴田)
	高22	飯田一郎	高23	西村也寸子(京谷)	高23	北島正	高23	木村嘉男
	高24	河内直美(林)	高24	丹羽俊雄	高24	馬場宏之	高25	信楽正幸
	高25	野村和史	高26	花岡健治	高26	杉山勉	高26	扇原裕子(太田)
	高26	池田薫	高26	中島里実(近藤)	高26	田中和道	高26	南部光彦
	高26	野村信之	高26	櫻井薫	高27	向井恵子(森島)	高27	向當徳一
	高27	上田孝	高27	袖森勝樹	高27	藤井幹也	高28	井上拓三
	高28	瀬川琴美(永淵)	高28	濱岸嘉彦	高30	木邑博昭	高31	荒川和清
	高31	山岡智子(西山)	高32	中村良一	高32	塚原隆夫	高33	坂本裕弥(熊井)
	高33	松井隆史	高33	泉尾昭子(仲川)	高34	上田努	高34	谷口みゆき(柴田)
	高36	森口和彦	高37	恒川智行	高38	小西博人	高63	出野太一郎
	高65	掛川博文	高65	小松堯	音楽科10	高野紀久子(迫田)	音楽科36	青木陽子
2,000円	本校32	奥田ツネ子(中村)	本校39	斉藤利子(大谷)	高6	辻玲子(田中)	高6	竹中美智子(高田)
	高6	中川恵美子(若林)	高6	中谷伊佐子(松村)	高7	石田喜美子(有田)	高9	青木匠
	高10	金山精三	高13	田辺昭規	高13	片山貞子(中島)	高16	大野勝三
	高18	荻田昌子	高18	太田益子(大嶋)	高18	堀田潤一	高19	三宅廣幸
	高19	大又真紀子(寺井)	高21	斉藤恒久	高22	冬廣富美子(松村)	高23	塩山大介
	高25	福井秀樹	高27	浦上達彦	高27	小島祐子(山田)	高28	松井喜和
	高31	伊藤守司	高33	尾崎ひろみ(山根)	高43	三井喜美代(朴原)	音楽科6	並河恭子(佐藤)
	音楽科7	吉富真弓(安達)	音楽科8	田村直子	音楽科9	戸祭喜久子(安井)	音楽科9	尾上玲子(小杉)
	音楽科17	小久見豊子(堀)	音楽科20	井上和子(坂井)	音楽科26	虎谷朋子(石原)		
1,000円	本校37	松田操(長谷川)	高2	時岡嘉一郎	高4	加藤正子(橘)	高7	田中紀久子(上羽)
	高27	山本一夫	高28	稲垣茂樹	高28	奥村陽子(下島)	高64	林万穂夏
	高68	山田浩貴						

堀川同窓会組織

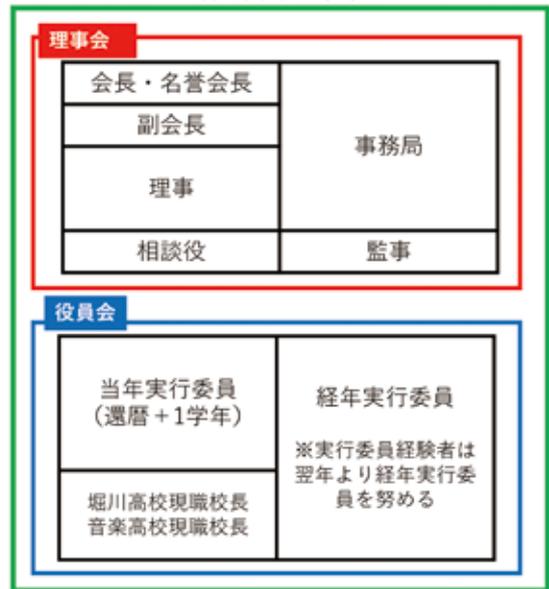
堀川同窓会の範囲

堀川同窓会の範囲は赤点線枠



※堀川音楽高校創立以前の堀川高校音楽科は「堀川同窓会」に含まれます。
 ※堀川音楽高校同窓会は堀川音楽高校+堀川高校音楽科で構成されています。

堀川同窓会組織



堀川同窓会ホームページ

トップページ	役員ご挨拶	同窓会組織	同窓会写真	同窓会会報	活躍卒業生	学年同窓会	堀川ゴルフ
堀川グルメ	堀川婚活会	東京支部	118回同窓会	同窓会10年史	会員データ変更	お問合せ	バックナンバー

- 同窓会写真 これまでの同窓会の写真
- 同窓会会報 これまでの会報誌
- 活躍卒業生 活躍する卒業生情報は自薦他薦で登録してください。
- 学年別同窓会 共有情報あれば掲載いたします。
- 118回の同窓会情報、参加お申込みはここから。
- 堀川ゴルフ、堀川グルメ、堀川婚活会、東京支部の情報はここから

各種お問合せはここから！

住所変更や物故者登録はここから！

必見！新制堀川同窓会の10年史です！

堀川同窓会ホームページを検索しよう！

<https://horikawa-dosokai.com/>



編集後記

若い世代の方々とお話する機会が、堀川高校を卒業した事を伝えると「凄いですね！」と皆さんが驚かれます。そんな時は「今の、堀川高校の生徒が凄いの、私たちの時代は自由やった。」と答えております。

当時の堀川の生徒は休講の度に校外に出ておりました。私はメンバーを集めては麻雀にせせと勤んでおりました。又、学校近くの喫茶店にて友達とワイワイと話してこんだりもしました。今から思うと、若さ故に周りの方々への配慮もなく、さぞかし迷惑をお掛けしていた事と反省しております。

2年生までは校門も開放されており、休講の際は、堂々と校門から出ておりました。しかし、余りにも校外に出る生徒が多いので、3年生になると登校が完了すると校門が閉まる様になりました。それでも校外に出る衝動は抑える事が出来ずに、校門を乗り越えて外に出ておりました。

校門を乗り越える生徒がいるとの連絡が入ったのは言うまでもありません。今から考えると、当然の事でお恥ずかしい限りであります。他にも自由気ままな事はたくさんありますが、自粛させ

て頂きます。

そんな自由気ままな高校生活を謳歌していた高校生が、43年後に堀川同窓会の実行委員として、役員会の諸先輩にお目にかかりました。実行委員をお受けしたものの、「ちゃんと出来るのか？」心配で仕方ありませんでしたが、諸先輩のお力添えを頂きながら、無事に開催の運びとなりました。実行委員をさせて頂き、堀川の先輩と言うことで身近に感じられ、距離も縮まり親しくさせて頂きました。又、先輩からお聞かせ頂くお話しなど、今まで知らなかった堀川を知る事が出来、堀川の生徒で良かったと再認識致しました。堀川同窓会の開催に向けて、何度も同級生とミーティングを重ね準備してきた日々、当日の運営のお手伝いに駆けつけて頂いた同級生、諸先輩のアドバイスなど、何だか学生時代に戻った感覚で貴重な経験をさせて頂きました。

最後になりましたが、第117回堀川同窓会に多大なご協力を賜りましたイベント出演者の皆様、同窓会役員や事務局の諸先輩方・同級生・後輩の皆様へ深く感謝を申し上げます。又、最後まで本誌をご覧いただきました皆様にも厚く御礼申し上げます。

第117回堀川同窓会実行委員一同（昭和58年卒・高35期）